

平成29年度～令和3年度 文部科学省研究開発学校指定

**新設教科「地域創造学」を中核とした教育課程等
の開発による社会的実践力の育成
～小・中・高等学校の滑らかな接続を活かして～**

日時：令和4年1月18日（火）

住田町立世田米小学校 外4校

○住田町について

- ・人口・・・5,068人(令和3年10月末時点)
- ・総面積・・・335km²(うち森林面積303km²)
- ・産業・・・森林・林業、農業等がさかん
- ・豊かな自然・・・五葉山、種山、気仙川等
- ・町内の小中高5校と今年度生徒数

世田米小学校(92名)

有住小学校(59名)

世田米中学校(61名)

有住中学校(27名)

県立住田高校(95名)

☆町内5校がそれぞれ独自に、**森林環境学習**や**国際理解教育**等、地域との関わりを大切にした教育実践を行ってきた。



○住田町について

☆住田町の人口の推移

・ 1960年の人口・・・約12600人



・ 2021年の人口・・・約5000人



・ 2040年・・・約3200人まで減少
(老齢人口は約46%に)

【住田町人口ビジョン・総合戦略・総合計画(平成30年9月改訂版より)】

※人材育成は持続可能な町の姿を描く上で最重要課題！

○世界全体の急激な社会変化

情報化、グローバル化、少子高齢化等の
進展に伴う価値観の多様化等



新しい時代を切り拓き、より豊かな人生
や地域づくりを主体的に創造できる人材
の育成が一層求められる

○これまでの住田町の学校教育における取組

森林環境
学習

国際教育

【歴史、文化、自然、産業等、
豊富な地域資源を生かした教育】

住田ならではの
新しい教科



○地域との関わり(歴史、文化、自然、産業、人等)

これまで住田が大切にしてきた実践

○小・中・高のつながりのある学び

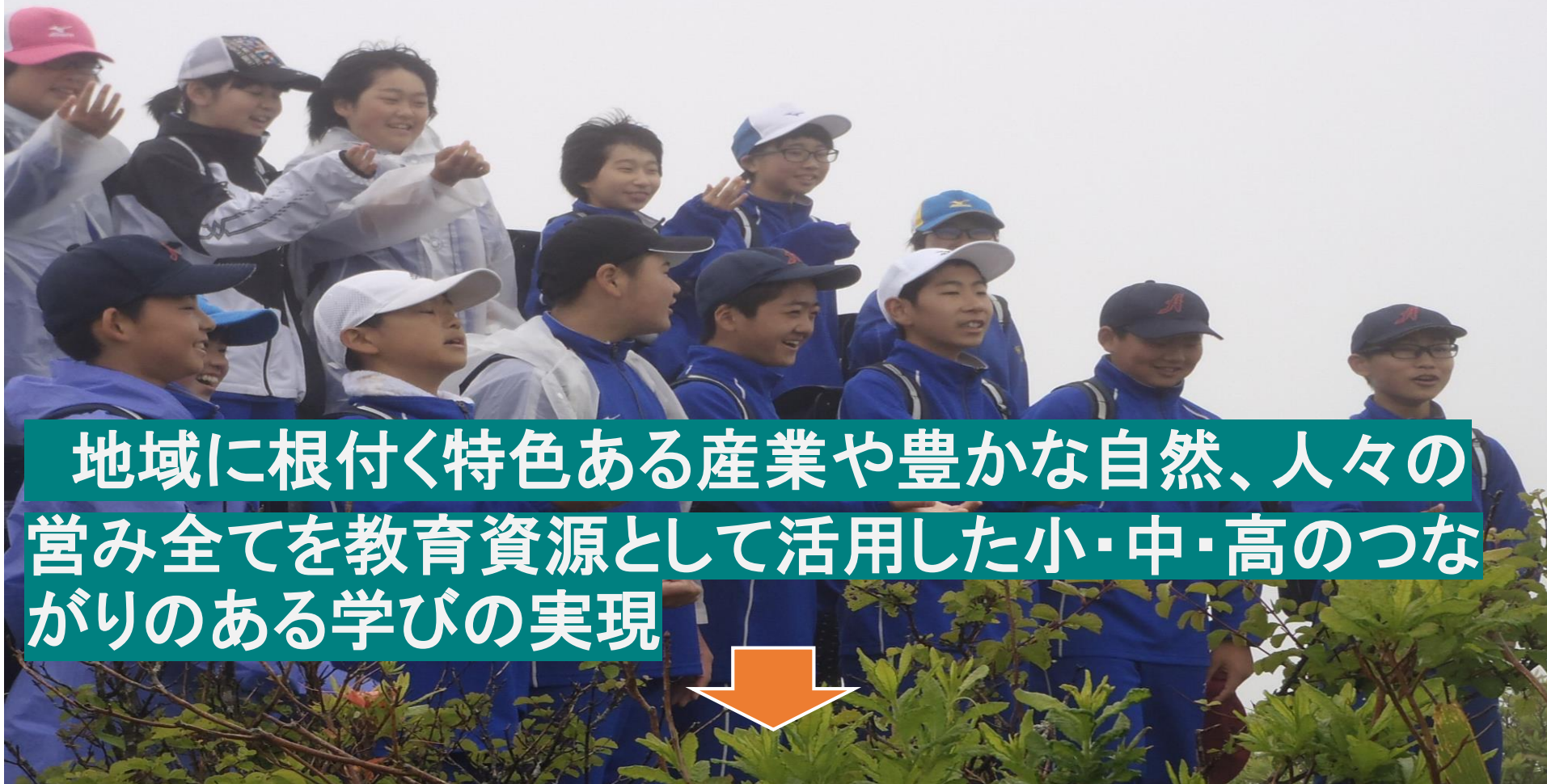
育成を目指す力、内容、指導方法等を共有

○主体的な課題設定、協働的に解決

今求められている教育

これからの時代に求められる**豊かな人生や地域づくりを**
主体的に創造できる力を育成していくことができるのでは？

有住中学校1年 種山散策



地域に根付く特色ある産業や豊かな自然、人々の営み全てを教育資源として活用した小・中・高のつながりのある学びの実現



新設教科「地域創造学」の創設

文部科学省研究開発学校制度指定

住田町研究開発グランドデザイン

～ 第9次住田町教育振興基本計画 基本目標～
生涯学び続け、新しい時代を切り拓く心豊かな人材の育成

小・中・高の12年間を通して【社会的実践力】が身につき、このような姿に育ちます。

歴史、文化、町の現状や課題の理解

町の発展・創造に関わる自分の役割を捉える資質・能力

学びを深めたり目標の達成を行ったりするために、他者と協力する資質・能力

A 地域理解

B 社会参画

社会的実践力

C 人間関係形成

D 自律的活動

「ひと・もの・こと」等の地域の実情を理解し、身の回りにある課題や問題を捉え、これからの地域の在り方や、よりよい社会づくりについて提案・発信する資質・能力

自分自身の置かれている状況や考え感じていることなどを認識し、それに応じてよりよい方向に調整しながら学びや活動を推進する資質・能力

3つの力が身についた子どもの姿

1. 体験活動を通じて、地域づくりを主体的に目指す態度
2. 他と協働するために積極的にコミュニケーションを図る態度
3. 郷土を愛し、持続可能な社会を創造しようとする態度

そのために住田町では、平成29年度から4年間にわたり、文部科学省・研究開発学校指定の教育活動を推進しています

新設教科【地域創造学】

【目標】
住田町及び近郊地域社会をフィールドにした横断的・総合的な学習を、探究的な学習活動を意図的・計画的に行うことを通して、新しい時代を切り拓き、社会を創造していくための社会的実践力を身に付けた心豊かな人材を育成することを目指す。

横断的・総合的で探究的な学びの実現

➢ 探究のプロセスを6つの要素に整理

地域との協働

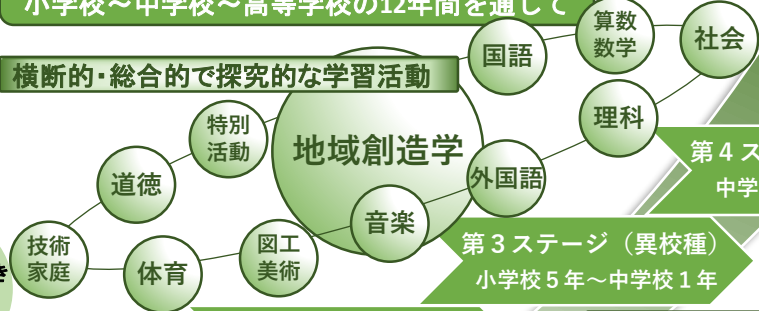
➢ 地域創造学の目標を町民と共有
➢ 外部人材の活用



～住田の教育のしくみ～

小学校～中学校～高等学校の12年間を通して

横断的・総合的で探究的な学習活動



- 第1ステージ (異校種) 保育園年長～小学校2年
- 第2ステージ 小学校3年～小学校4年
- 第3ステージ (異校種) 小学校5年～中学校1年
- 第4ステージ (異校種) 中学校2年～高校1年
- 第5ステージ 高校2年～高校3年

小・中・高連携
～12年間を5つのステージに～

12年間の住田の教育でめざす資質・能力

社会的実践力	A 地域理解			
	B 社会参画	1 見通す力	2 多角的・多面的に考える力	3 提案・発信する力
	C 人間関係形成	1 伝え合う力	2 協働する力	3 他者受容
	D 自律的活動	1 感じ取る力	2 創出する力	3 自己肯定感

○研究開発課題について

子どもたちに新しい時代を切り拓くために
必要な資質・能力や心の豊かさを育成するため、
小・中・高の滑らかな教育の接続を活かして、
新たに教科「地域創造学」を新設した場合の教
育課程、指導方法及び評価方法等の在り方に関
する研究開発

○具体的な取組

- ① 教育課程の特例による教科「地域創造学」の創設と授業実践
- ② 新しい時代を切り拓くために必要とされる資質・能力(社会的実践力)の規定
- ③ 社会的実践力を育成するための教育課程の編成や効果的な指導方法の開発
- ④ 社会的実践力の育成を評価するための具体的指標の開発
- ⑤ 新設教科「地域創造学」に関するアンケート調査や外部評価の効果的な活用と教育課程等の在り方の検証

○教育課程の特例による教科「地域創造学」の創設と授業実践

○教育課程の特例(令和3年度)

- ① 小学校では、生活科、道徳、外国語活動及び総合的な学習の時間を減じて、「地域創造学」を1年生106時間、2年生110時間、3・4・5・6年生では85時間設定する。
- ② 中学校では、全学年において、道徳、外国語及び総合的な学習の時間を減じて「地域創造学」を1年生で62時間、2・3年生では82時間設定する。
- ③ 高等学校では、総合的な探究の時間を減じて、「地域創造学」をそれぞれの学年で1単位35時間設定する。

○社会的実践力の規定

「社会的実践力」

子どもたちが変化の激しい社会において、充実した人生を実現していくために、豊かな心を持ち、自ら主体的に未来の社会を創造していくことのできる力

地域創造学で育む社会的実践力を形作る12の資質・能力

☆汎用的スキル ★態度・意欲・学びの価値

社会的実践力	A 地域理解		①
	B 社会参画 に関する資質・能力	☆ 見通す力	②
		☆ 多面的・多角的に考える力	③
		☆ 提案・発信する力	④
		★ 好奇心・探究心	⑤
		★ 困難を解決しようとする心	⑥
	C 人間関係形成 に関する資質能力	☆ 伝え合う力	⑦
		☆ 協働する力	⑧
		★ 他者受容	⑨
	D 自律的活動 に関する資質・能力	☆ 感じ取る力	⑩
		☆ 創出する力	⑪
		★ 自己肯定感	⑫

A 地域理解

自分たちの地域の歴史や文化、現状や抱えている課題、活用資源を理解し、ふるさとに愛着を持ちながら、町の発展・創造に関わる自分の役割を捉える資質・能力

◎地域の発展と未来への創造に関わる自分の役割や使命、自分の生き方を捉えることができるようにすることを目指す

B 社会参画に関する資質・能力

「ひと・もの・こと」等の地域の実情を理解し、身の回りにある問題や課題をとらえ、これからの地域の在り方やよりよい社会づくりについて提案・発信することに関わる資質・能力

☆見通す力 ☆多面的・多角的に考える力 ☆提案・発信する力

★好奇心・探究心 ★困難を解決しようとする心

問題解決の方法を多面的・多角的に考えながら、よりよい地域づくりに向けた取組を提案していくことを目指す

C 人間関係形成に関する資質・能力

学びを深めたり、目標の達成を行ったりするために、他者と協力することにつながる資質・能力

☆伝え合う力

☆協働する力

★他者受容

自分を取り巻く他者、集団、社会とのかかわりの中で、望ましい人間関係の形成を目指す

D 自律的活動に関する資質・能力

自分自身の置かれている状況や考え、感じていること等を認識し、それに応じてよりよい方向に調整しながら、学びや活動を推進することに関する資質・能力

☆感じ取る力

☆創出する力

★自己肯定感

自分のよさや可能性をとらえることにつながる

【社会的実践力】児童生徒が変化の激しい社会において、充実した人生を実現するために、豊かな心を持ち、主体的に未来社会を創造していくことができる力

☆ 汎用的スキル ★ 態度・意欲・学びの価値

A 地 域 理 解

自分たちの地域の歴史や文化、現状や抱えている課題、活用資源を理解し、ふるさとに愛着をもちながら町の発展・創造に関わる自分の役割等を捉える。

B 社会参画 に関する資質・能力 「ひと・もの・こと」等の地域の実情を理解し、身の回りにある課題や問題を捉え、これからの地域の在り方や、よりよい社会づくりについての提案・発信に関する資質・能力	1 ☆見通す力	【☆見】	自分や集団にとっての課題や問題を発見し、その解決方法を見いだす問題発見力。情報を適切に活用する力。目標の達成に向かって解決の道筋を見通し計画する力。
	2 ☆多面的・多角的に考える力	【☆多】	根拠を明確にしなが様々な見方や考え方で検討する力。批判的思考力。考えや解釈の妥当性を考える力。予測し判断する力。
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	地域への愛着を持ち、よりよい社会づくりに向けた取組を提案する力。解決策や考えたことについて効果的な発信方法を考える力。新しい視点や価値観を生み出す力。
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	身の回りや地域の事象に興味関心を持つ態度。もっと知りたいと思う心。知りたいことや解決したいことをみつけようとする姿勢。
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	失敗してもあきらめずに挑戦しようとする心。集団の仲間とともに困難な場面に直結しても粘り強く取り組み、最後までやり遂げようとする姿勢。
C 人間関係形成 に関する資質・能力 学びを深めたり、目標の達成を行ったりするために、他者と協力することに関する資質・能力	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	調べたことや自分の考えを伝える力。視覚的に伝え方を工夫する力。気持ちや感じたことなどを伝える力。双方向的に伝え合う力。
	2 ☆協働する力	【☆協】	目標達成に向かって、他者と協力して活動できる力。議論し合ったり、集団活動を統制したりする力。
	3 ★他者受容	【★受】	多様な他者の考えや価値観、立場を受け入れる態度。相手を尊重したり敬意を抱いたりする心。
D 自律的活動 に関する資質・能力 自分自身の置かれている状況や考え、感じていることなどを認識し、それに応じてよりよい方向に調整しながら学びや活動を推進することに関する資質・能力	1 ☆感じ取る力	【☆感】	自己の現在の姿を見つめる力。考えや発想、思いを自分自身で捉えたり、捉え直したりして、これからの自分の学びや活動をよりよいものに調整しようとする力。
	2 ☆創出する力	【☆創】	出会う「ひと・もの・こと」に触れて面白さや楽しさ、よさを感じ、自分なりに表現する力。新しい表現の仕方を生み出したりする力。
	3 ★自己肯定感	【★肯】	学びの過程や活動を省察したり、最後までやり遂げた達成感を味わったりしながら自分のよさを捉える心。自分の可能性を前向きに受け止め、より高いもの・よりよいものを目指して取り組もうとする態度。

○5つのステージのまとめ

○第1ステージ: 保育園年長児、小学校1年、小学校2年

○第2ステージ: 小学校3年、小学校4年

○第3ステージ: 小学校5年、小学校6年、中学校1年

○第4ステージ: 中学校2年、中学校3年、高校1年

○第5ステージ: 高校2年、高校3年

各ステージにおける社会的実践力の系統表(一部抜粋)

☆ 汎用的スキル

★態度・意欲・学びの価値

資質・能力の分類	A～Dに関する各資質・能力とその定義			第1ステージ			
				年長	小1	小2	小
A 地域理解	自分たちの地域の歴史や文化、現状や抱えている課題、活用資源を理解し、ふるさとに愛着をもちながら町の発展・創造に関わる自分の役割等を捉える。			身近な「ひと・もの・こと」との関わりを通して、自分たちの住んでいる場所のよさとして受け止めることができる。			地域の文化や伝統について理解し地域に生きる。
B 社会参画に関する資質・能力	1 ☆見通す力	【☆見】	自分や集団にとっての課題や問題を発見し、その解決方法を見いだす問題発見力。情報を適切に活用する力。目標の達成に向かって解決の道筋を見通し計画する力。	身近な「ひと・もの・こと」について思いや願いを持ち、その実現に向けて、目標を自ら設定して計画を立てたり、手順を考えたりしながら、取り組むことができる。			身近な「ひと・もの・こと」について自分にとっての課題について取り組むことができる。
	2 ☆多面的・多角的に考える力	【☆多】	根拠を明確にしながらかつ様々な見方や考え方で検討する力。批判的思考力。考えや解釈の妥当性を考える力。予測し判断する力。	具体的な遊びや活動体験を通して、心と体を一体的に動かしながらかつあれこれと思いを巡らして活動に取り組み、自分なりにその価値を意味付けたり価値付けたりすることができる。			課題を解き、条件が揃ったときに行うことができる。
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	地域への愛着を持ち、よりよい社会づくりに向けた取組を提案する力。解決策や考えたことについて効果的な発信方法を考える力。新しい視点や価値観を生み出す力。	周囲の「ひと・もの・こと」と関わりながら、楽しかったことや感じたことを絵や言葉などで表すことができる。			捉えた町や地域の様子、様子を、絵や言葉などで表すことができる。
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	身の回りや地域の事象に興味関心を持つ態度。もっと知りたいと思う心。知りたいことや解決したいことをみつけようとする姿勢。	自分を取り巻く「ひと・もの・こと」に自発的な関心に向け、それのあるものと感じ取り、積極的に関わろうとしている。			興味・関心のあるものを感じ取り、積極的に関わろうとしている。
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	失敗してもあきらめずに挑戦しようとする心。集団の仲間とともに困難な場面に直結しても粘り強く取り組み、最後までやり遂げようとする姿勢。	興味・関心のあることだけでなく、自分のやるべきことをしっかりと味わう経験を積み重ね、自分にとって難しいと思うことでも乗り越えることができる。			興味・関心のあることだけでなく、自分のやるべきことをしっかりと味わう経験を積み重ね、自分にとって難しいと思うことでも乗り越えることができる。

○単元計画の作成（6年生の単元例）

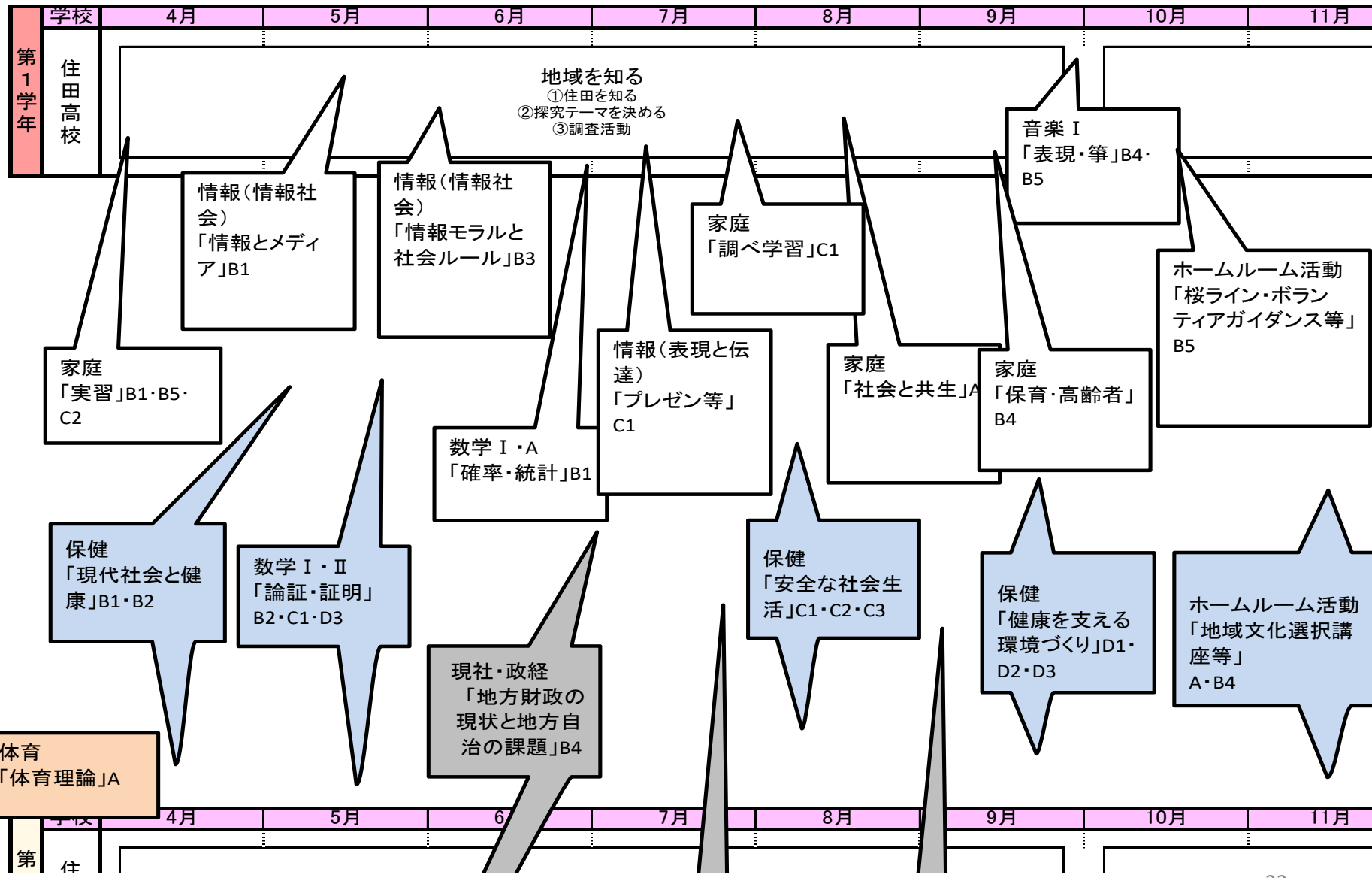
単元名	考えよう 私たちの町の未来 【第6学年：第2単元】		
単元の目標			
	資質能力の分類	資質能力別の分類	
社会的実践力	A【地域理解】	○住田町の町づくりの取組の課題やこれからの取組、携わる人たちの思いについて理解することができる。	
	B【社会参画に関する資質能力】	○町づくりの取組の課題やこれからの取組を調べ、その意味について考えたり、住田町の町づくりについての自分の思いを表現したりすることができる。	
	C【人間関係形成に関する資質能力】	○互いに意見を出したり様々な考えを受け止めたりして、これからの町づくりについて協力しながら調べたり、考えたりすることができる。	
	D【自律的活動に関する資質能力】	○町づくりの取組の課題やこれからの町づくりについて、自分の探究の様相を振り返ったり調整したりして探究することができる。	

評価規準		資質能力	評価規準
A ◎地域理解			・ 事実に基づきながら町づくりの取組の課題や解決に向けた取組のよさを理解し、携わっている人たちの思いを捉えている。
社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力		・ 住田町の町づくりの取組の課題やこれからの取組についての探究の見通しや計画を、予想などをもとにしながら考えている
	2 ☆多角的・多面的に考える力		・ 住田町の町づくりの取組の課題やこれからの取組について多面的・多角的に捉え、その意味を考えている。
	3 ☆提案・発信する力		・ 住田町のこれからの町づくりについて、調査に基づいて自分の願いを発信している。
	4 ☆好奇心・探究心		・ それぞれの町づくりの取組の課題やこれからの取組に関心をもち、積極的に探究している。
	5 ☆困難を解決しようとする心		・ 町づくりの取組についての探究活動がうまくいかないときも、粘り強く、最後まで取り組もうとしている。
関する人間関係形成能力	1 ☆伝え合う力		・ 町づくりの取組について調査したことや町づくりに対する願いについて、質問をしたり意見をしたりして伝え合っている。
	2 ☆協働する力		・ 町づくりの取組の探究や自分たちの願いの発信において、友達と検討を重ねたり自分の役割を果たしたりしている。
	3 ☆他者受容		・ 町づくりに携わっている方や友達への考えの理解に努め、相手の思いを尊重しようとしている。
D 自律的活動に関する資質能力	1 ☆感じ取る力		・ 町づくりについての学習活動を振り返りながら調整して探究し続け、理解を深めようとしている。
	2 ☆創出する力		・ 町づくりについての自分の考えを、感性や創造性を発揮しながら工夫して表現している。
	3 ☆自己肯定感		・ 住田町の町づくりの取組についての探究活動を進めることができたことに自信を深め、今後の学習に生かそうとしている。

単元の指導		(全27時間)						
月	小単元名	プロセス	時	主な学習活動	関連する教科・領域	評価項目(評価方法)		
8	住田町の町づくりの取組の課題	状態把握・理解	2	・ これまでの学習をもとに、住田町の町づくりの取組の課題について考える。	国語「一番大事なもの」C-1 国語「大切にしたい言葉」D-1	・ B2☆多面的・多角的に考える力(振り返りの記述) ・ A ◎地域理解(ワークシートの記述) ・ C1☆伝え合う力(チェックリスト) ・ D1☆感じ取る力(ポートフォリオの記述) ・ B4☆好奇心(ワークシートの記述)		
			2	・ 町役場の方から話を聞く学習会を開き、現在の町づくりの取組の課題を調べる。				
		実施・改善	1	・ 町づくりの取組の課題について、分かったことをポートフォリオにまとめる。				
			1	・ これからの町づくりに対する自分たちの願いを発信する学習の見通しをもつ。				
9	これからの町づくりの取組の課題	計画・見通しをもつ	1	・ 自分たちの願いを発信するために、町づくりの取組をさらに詳しく調べる計画を立てる。		・ B1☆見通す力(チェックリスト)		
			1	・ それぞれの課題の解決に向けた住田町の取組を予想する。		・ B2☆多面的・多角的に考える力(チェックリスト)		
		情報収集	1	・ それぞれの課題の解決に向けた取組や、これからの取組を調べる学習会を計画する。		・ B1☆見通す力(チェックリスト)		
			2	・ 役場の方から話を聞く学習会を開き、それぞれの課題の解決に向けた取組やこれからの取組について調べる。		・ A ◎地域理解(ワークシートの記述) ・ G3☆他者受容(チェックリスト)		
		実施・改善	3	・ それぞれの課題の解決に向けた取組やこれからの取組について分かったことをポートフォリオにまとめる。		・ D1☆感じ取る力(ポートフォリオの記述)		
			1	・ それぞれの課題の解決に向けた取組のよさや携わっている人の思いを考える。		・ B2☆多面的・多角的に考える力(チェックリスト)		
			1	・ それぞれの課題の解決に向けた取組のよさについて、分かったことや考えたことをポートフォリオにまとめる。		・ D1☆感じ取る力(ポートフォリオの記述)		
			1	・ これまでの調査をもとに、これからの町づくりについて考える。		・ D2☆創出する力(ルーブリック)		
		10	これからの住田町への願い	課題設定	1	・ 住田町のこれからの町づくりに関する自分の願いを発信する方法を考える。		・ C1☆伝え合う力(ワークシートの記述)
					1	・ グループごとに発信に向けての活動内容や役割分担を考え、発信に向けた計画を立てる。		・ B1☆見通す力(ワークシートの記述)
実施・改善	5			・ 自分たちの願いの発信に向けた準備を行う。		・ C2☆協働する力(チェックリスト) ・ B5☆困難を解決しようとする力(チェックリスト)		
	2			・ これからの住田町の町づくりに関する自分の願いを、地域の方などに発信する。		・ B3☆提案・発信する力(ルーブリック)		
12	振り返り	まとめ	1	・ 単元の学習活動を振り返り、自分の探究活動を評価する。		・ D3☆自己肯定感(振り返りの記述)		
			時数計	27時間				

○教科との関連

岩手県立住田高等学校 第1～第3学年 地域創造学教科関連検討表（一部抜粋）

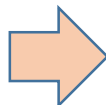


○学習指導要領解説地域創造学編の作成

学習指導要領解説

地域創造学編

平成31年3月



○児童生徒の主体性の重視

- ・ 主体性を生み出す学習課題の設定
- ・ 主体的な学びにつながる工夫

○地域創造学の特質を生かした学習指導の展開

- ・ 多様な学習展開（体験活動の重視、異校種の円滑な接続につながる学習）の工夫
- ・ 他地域や類似の事例にも学ぶ
- ・ 多様な考えを生かす言語活動
- ・ 地域創造学における六つの探究のプロセス

○評価の基本的な考え方

- ・ 教育達成測定
- ・ パフォーマンス評価の在り方
- ・ ポートフォリオの活用等

○探究のプロセスの往還を意識した指導方法

【本町における探究の六つのプロセス】

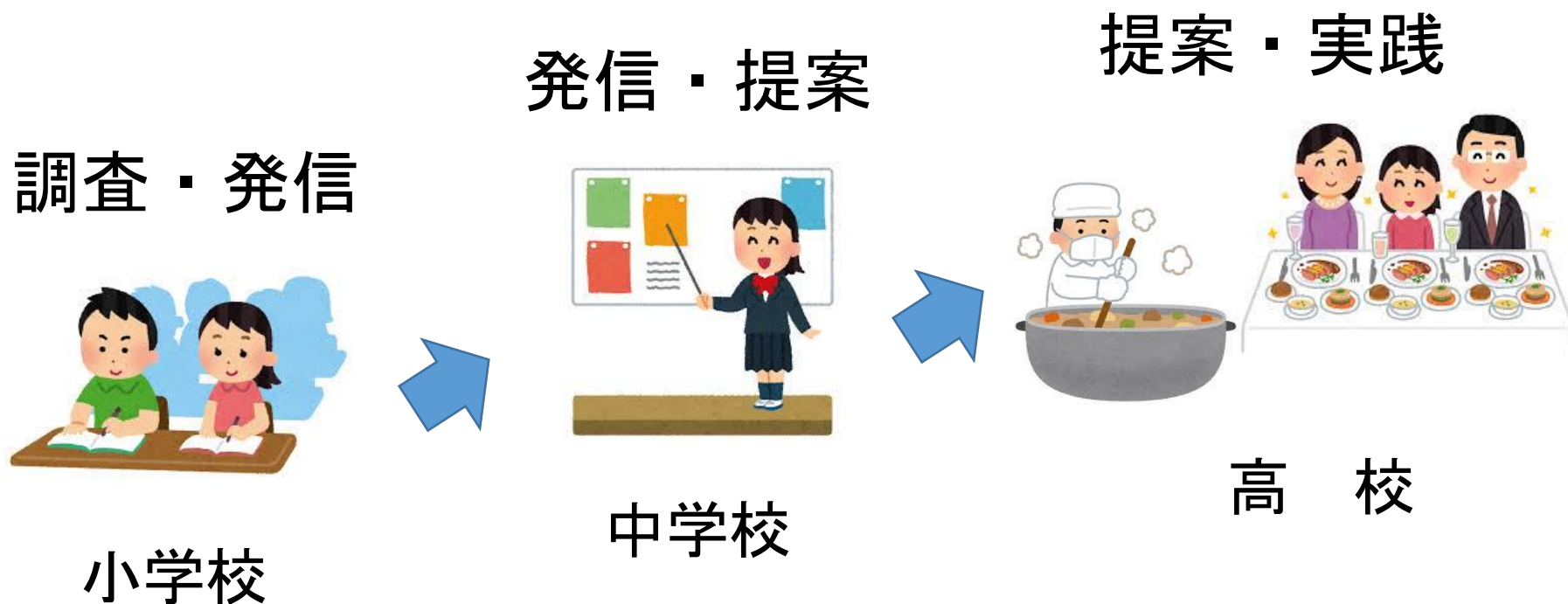
プロセスはいつでも**一方向とは限らない**



児童生徒の学習状況に応じて、**プロセスを柔軟に往還させる**



○探究方法の系統化

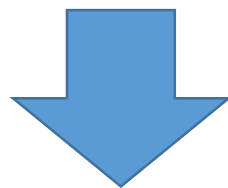
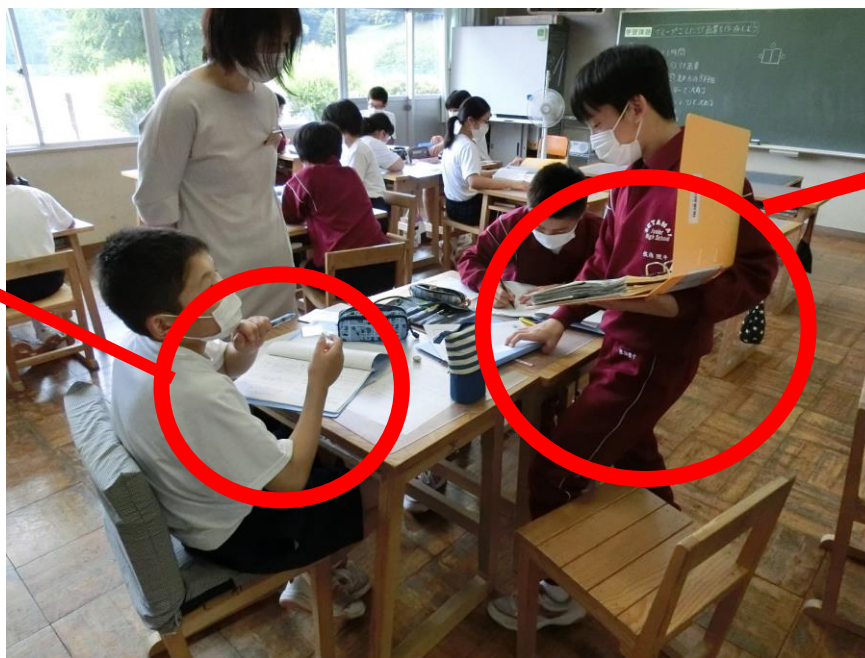


上記は、あくまで基本的な流れであり、一方向的な流れにとらわれず、児童生徒の探究の段階を見極めながら、柔軟に指導計画を見直していく。

○12年間の学びをつなぐポートフォリオの活用

ワーキング
ポートフォリオ
(1年分)

パーマネント
ポートフォリオ
(小学校～高校)

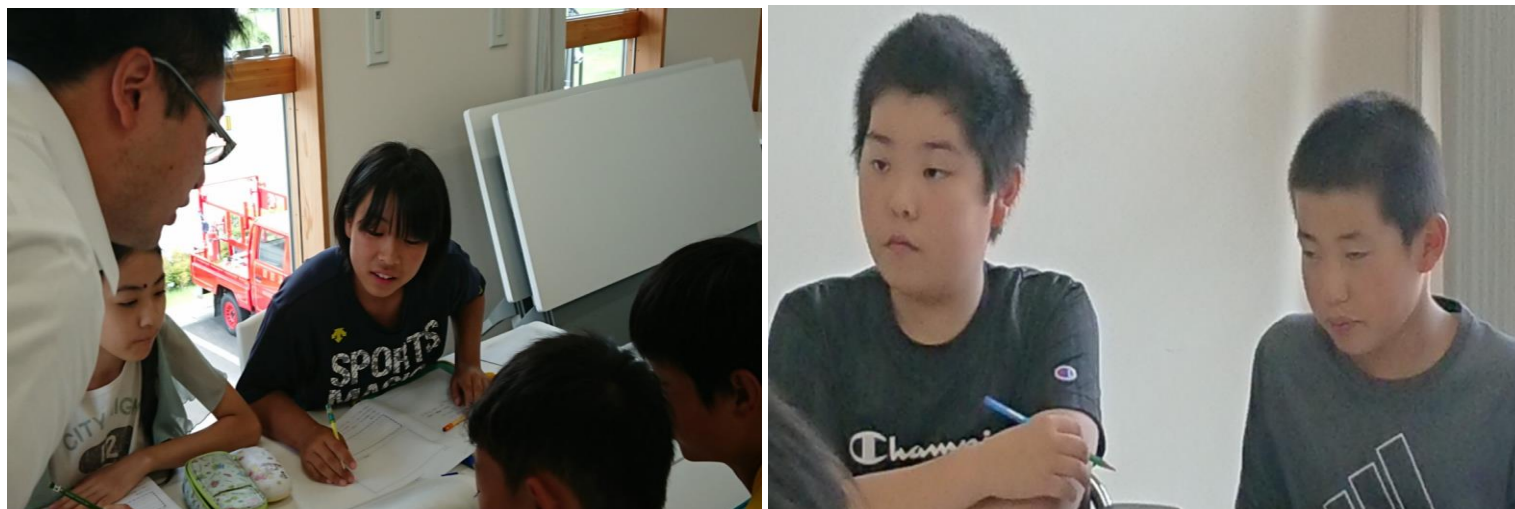


ポートフォリオを活用した学習の蓄積

◎社会参画に関わる児童生徒の実践

(1) R1小学校第6学年 単元名「考えよう 私たちの未来」より

【住田町役場で町づくりの取組について探究活動を行う児童の様子】



- ・住田町の「町づくり」の取組について探究
- ・計3回の役場訪問を通して、取組の「よさ」、「課題」、「これからの取組」について、「まず自分たちが考える」ことを大切にして主体的に探究を進め、役場職員との議論を通して学びを深める。

◎社会参画に関わる児童生徒の実践

(2) R1世田米中学校第3学年 単元名「プロジェクト実現に向けて行動しよう！」

○プロジェクト名「住田の食材を生かして給食献立をつくろう」

【調理方法を探究する生徒と学校給食に採用された献立】



- ・自分たちの興味・関心(食)に基づく課題設定
- ・地域のよさ(食材)を伝えたいという思いの基に、教師やゲストティーチャーである栄養士との何度もの協議(探究のプロセスの往還)を繰り返してのプロジェクトの実現

◎社会参画に関わる児童生徒の実践

(3) R2住田高校第2学年 単元名「地域への貢献を考える」より
 ○プロジェクト名「外国人も暮らしやすい町に」

・自身の海外研修等の経験を基に、外国人の暮らしやすさに着目したプロジェクト

・「ごみの分別」に着目し、外国人にとっても住みやすい、「よりよい地域社会の在り方」を探究し、プロジェクト発表会で提言

・プロジェクト発表をきっかけとして、町(大人)が本気で動き、「外国人向けごみ分別表」を町内のごみステーションに設置することが実現

東海新聞 令和3年(2021年)3月28日(日曜日)

住高生のプロジェクト実現



外国人向けごみ分別表

町が5カ所に設置 地域創造学で取り組み

住田町は、外国人向けのごみ分別表を製作し、町内5カ所の「ゴミステーション」に設置した。住田高校の2年(19)が、独自教材である「地域創造学」で取り組んできたプロジェクトを知り、実現させた。町内の海外研修での経験などから、「外国人も暮らしやすいまちに」と外国人向けのごみ分別表の製作を提案。「まずは第一歩。これからは、気仙全体が外国人にとって住みやすい場所になれば」と今後の活動に意気込みを述べている。

は本年度から、地域創造学において「外国人の人たちも暮らしやすいまちをつくる」をテーマに活動した。

活動の根拠には、小学校時代のALT(外国人指導助手)との交流がある。随前高田市高田町出身の住田は、東日本大震災の津波で自宅が被災し、高田高校で3年間暮らした。高田高校で暮らした経験から、町内に整備された仮設住宅に小学1年生から中学1年生まで入居していた。同じ仮設住宅に生活していたALTと交流するうちに、日本の町内5カ所に設置されたごみ分別表

生活で困っていること、苦労していることを教えてもらったことが、今回の活動につながった。

一昨年、当時の大船渡高校3年生の生徒が行っていた在住外国人の生活充実を支援する取り組みにも影響を受けた。また、昨年度、海外派遣事業でオーストラリアを訪問した際に、自身も「外国人」としての苦労を感じたという。

これまでに、住田町内在住の外国人の数や、他自治体による外国人へのアンケート調査の結果を調べ、町内の外国人技能実習生などにもインタビューを実施。

昨年12月には、気仙の高校生が探究授業や海外活動で取り組んできたプロジェクトを発表し合う「ケセンプロジェクトDAY」で外国人

◎探究のプロセスの往還に関わる生徒の実践

○プロジェクト名
「歌プロ～住田の名所を歌にする～」

実行 実行 実行 実行 令和2年(2020年)9月8日(火曜日)

住田の「いいところ」PR



地域の創造
学の一環

生徒らが歌を制作

「自然」「人」など歌詞に

住田高校

住田町の県立住田高校(青森県三枝校、生徒60人の3年生)が、町をPRする歌「歌は住田」を作り、このほかPV(プロモーションビデオ)の撮影を行った。地域創造の一環として取り組んできたもので、自然も人も住田の「いいところ」を盛り込んだ一曲になっている。PVは完成後、町営ケーブルテレビ・住田テレビで放送される予定。

地域創造は、文部科学省による研究開発校事業の一環。平成29年度に開始された。20年度に住田米小、有住小、住田米中、有住中、住田高の5校が指定された。教育実践の中でほかの上記の各機関、時代に対応した新しいカリキュラムや指導方法の開発を目指す。

PV(プロモーションビデオ)撮影は7月30日、生徒ら7人が、住田町のPRに向け、地域創造を取り



【六つの探究のプロセスを幾度も往還】

- ・自分たちの興味・関心(歌)と地域活性化をつなげた「課題設定」
- ・客観的な視点を大切にされた地域への「情報収集」
- ・「実施・改善」から再度「情報収集」「計画の見直し」へ



自分たちなりのプロジェクトの実現

◎児童生徒の実践から見えてきた指導の在り方

「教師は、子どもたちの**伴走者**として、
主体的な学びをサポートする。」

- ・ 教師は一方的に探究のプロセスを押しつけるのではなく、探究段階に応じて粘り強く児童生徒に寄り添いながら、「問い」を通して、新しい視点に気づかせるような支援を行っていく



◎評価の在り方

・地域創造学におけるパフォーマンス評価（ルーブリックの一例）

単元名 「住田に地域貢献している人や資源について調べよう！」

みとる資質・能力		「A ◎地域理解 D2 創出する力
取り組むパフォーマンス		住田町に貢献している人・資源を発信するための計画を立案する。
パフォーマンスの特徴	A	・住田町全体を連想できたり、四季を通じて楽しめたり、背景に住田町の良さ・雰囲気を感じられたりするような企画書を作成する。（例：気仙川の魅力や、気仙川での釣り・砂金とりなどを紹介した企画書を書いている。四季を通じて楽しめる種山が原の魅力を紹介する企画書を書いている）
	B	・「住田町に貢献している人・資源」を発信するメディアを作成するための企画書を作成する。
	C 支援の手立て	・計画書作成に関する動画を視聴し、その内容を分析する活動を設定する。 ・3人一組のグループを作り、アイデアを出し合える環境を設定する。

◎教育達成測定

・児童生徒の学習の変容や、学習への達成感をとらえる一手法として、教育達成測定の項目を検討し、開発。

・町内の小・中・高5校及び対照群として、県内の同規模の自治体の小・中・高5校で、令和元年度から2年間、計8回実施。

【教育達成測定の12項目から一部抜粋】

◆次のア～シの項目について、現在のあなたは、どの程度当てはまりますか。
当てはまると思った数字一つに○をつけてください。このアンケートは、学習の成績には関係ありません。

質問内容		当てはまらない	まったく当てはまらない	当てはまらない	どちらとも 言えない	当てはまる	よく当てはまる			
ア	地域に関する学習は、自分に役立っていて、「地域は大切だ」と思うようになり、地域が好きになった。	1	-	2	-	3	-	4	-	5
イ	自分たちの地域には、どのようなよさや問題があるのかを見つけて、問題の解決のために見通すことができる。	1	-	2	-	3	-	4	-	5
ウ	地域のことについて正しい情報をもとに、自分の考えがふさわしいかどうかを、その理由も明らかにしながら考える。	1	-	2	-	3	-	4	-	5

◎教育達成測定の分析から見えてきたこと

- 「地域に対する価値の発見や課題を解決するために必要な能力」

➡ 各校種において、2年間を通して概ね対照群より高い成果が見られた。

- 「仲間との協働に係る態度」

➡ 各校種において、2年間を通して対照群と大きな差は見られなかった。

上記の2つの観点の分析結果は基より、今後12の資質・能力が、それぞれどのように変容したのかについても、分析を進め、カリキュラムの見直しを図っていく。

◎地域との協働

- ・ゲストティーチャーの活用は地域創造学の「醍醐味」！
- ・令和元年度からに約2年半で、延べ約250名の地域の方々が協力

【地域をフィールドにし探究活動における様々な場面でゲストティーチャーの話をきく児童生徒】



◎地域との協働

地域創造学協力者会議



学校と地域の方々とで、
よりよい「地域創造学の
あり方」に関して協議

- 地域創造学の目標や育成を目指す社会的実践力の共通理解
- 学校及び地域の思いや願いの共有
- 外部人材の効果的な活用のあり方等について意見交換

◎地域との協働

- ・地域の報道機関(町営ケーブルテレビ、新聞社等)との連携

児童生徒の取組の様子を詳細に報道 ➡ 地域創造学の取組を町全体で共有

【歌プロの7人は住田テレビと協働して、PVを作成】



※住田テレビ、学校、町教委が連携し、地域創造学を番組化!

○研究開発の成果と課題

◎成果

・住田町独自のカリキュラム開発及び実践

(社会的実践力の系統表・単元計画・学習指導要領解説の作成及び実践、小・中・高が共通理解を図りながら、よりよいカリキュラムの在り方に関して、日々見直しを図っていく体制の確立)

・児童生徒の変容

(地域をフィールドにして主体的に探究活動を進めていく児童生徒の姿、地域のよりよいあり方について考えようとする意識の高まり)

・教師の変容

(異校種の指導方法に学ぼうとする姿勢、地域創造学での指導を契機とした日常の授業改善意識の高まり)

・地域との協力体制の確立

(地域創造学におけるゲストティーチャー、協力者会議、アンケート等を通して見えてきた地域全体で子どもたちを育てていくことに対する意識の高まり)

◎課題及び今後の方向性

・カリキュラムの不断の見直し

(これまで開発・実践してきたカリキュラムに関しては、児童生徒の実態や変容を見取りながら、常に見直しを図っていく事が求められる。教育達成測定や各種アンケート等の結果に関しても、小・中・高の教師が協働し、さらに詳細に分析を進めていかなければならない)

・12年間の学びの評価の在り方

(地域創造学はスタート地点に立ったばかりであり、学年やステージ、校種を越えて、児童生徒がどのように変容していったのかについて、長いスパンで評価していかなければならない)

・異校種間連携

(小・中・高の学びである地域創造学は児童生徒に限らず、教師にとっても、異校種間連携を促進する仕組みそのもの。地域創造学をさらに充実した学びにしていくためには、より効果的な異校種間連携の形の追究が不可欠)

・持続可能なプログラムの構築

(児童生徒だけでなく、教師や地域、保護者も含めて考えた上で、地域創造学を今後も持続可能なプログラムとしていくための取組の精選)

ご清聴、ありがとうございました。